

光ではなく、ともじびとつて

(ヨハネ一・六〜八)

一月場所もいよいよ千秋楽。注目は専ら十年ぶり(一)の日本人力士の優勝が見られるかというところになっていると思うが、大相撲ファンではない私が幕内の取組をじっくり見るなどということはない。せいぜいネット上のスポーツ記事をザッピング(拾い読み)する程度である。そんな私に関係なく、相撲界はしきたり通りに進んでいく。その一つが横綱の土俵入り。「只今より、横綱〇〇土俵入りであります。露払い△△、太刀持ち××、先導は行司□□であります」のアナウンスと共に「主役」が登場するアレである。この中の「露払い」というのは元々は草原や原野を集団で行くときに先導を行く者の事を指し、足や手で天露を払い、後続のものの足が濡れないようにする係であり、身分の低い者の役割であったという。ではイエスを「横綱」に見立てた場合の「露払い」といえばやはりバプテスマのヨハネに止めを指す。以下、彼について二つのことを学び、同時に私たちの生き方を点検していきたい。

一、光ではなかったヨハネ

福音書記者は開口一番ヨハネのことを神から遣わされた存在として描写している。こう書いてあれば読者が彼を「特別な存在」として認識するのはごく自然なことである。しかし一転、八節においてはヨハネのことを「光ではなかった」と断言するのである。この「光」がイエスを指すことは前後関係を見ても明瞭である。他にも二〇節には実にヨハネ自身が「わたしはキリストではありません」と断言しているのを見る。ではなぜヨハネはこうまで自分が神の子ではない旨を断言し続けたのだろうか。恐らくイエスに先行する者としてのヨハネの影響力は大きく、中にはヨハネの姿に救い主の姿を見た者が多かったからだと思われる。確かに彼はイエスからも「女から生まれた者の中で最も優れた者」と言われており(参・マタイ一一・一一)また「使徒の働き」の一九章などを見るとイエスが復活してゆうに二〇年以上が経過した時点において、小アジアで「ヨハネのバプテスマ」を受けた者たちの一団があつたことも見えて来る。つまりバプテスマのヨハネには人々に「彼はメシアでは？」と思わせるものが備わっていたのだ。しかしそれは間違いである。どんなに人間として最高級であろうとも、彼は光そのものでは決してなかったのである。

二、光を証ししたヨハネ

神から遣わされた、ある意味で特別な存在であつたが、究極の光ではないのだとすれば、ではこの男は一体何者なのだろうか。福音書記者は彼を光(即ちイエス)について証しする者だと紹介している。そしてヨハネ自身も自らを「荒野で叫んでいる者の声」だと言い、更に彼が最初にイエスに出会った時、イエスのことを「見よ、世の罪を取り除く神の小羊。」と言って、イエスがメシアであることを明らかにした。更にイエスの宣教活動が始まると、ヨハネの信奉者たちの中からイエスに「鞍替え」するものが出てきた。しかしヨハネは却ってそれを喜び、なんと「彼は必ず栄え、私は衰える」と断言したのである。彼は自分の使命が解つていたので。イエスもまたそのようなヨハネを評して「燃えて輝くともじび」だと語った(五・三五)。「ともじ火」とは原文では金属や陶器でできた「ランプ」を指す。確かにランプは発光する。だがその力量は微々たるもの。日光とは比べるべくもない。第一その光は常に油の量に左右される有限なものである。しかしだからといって「ランプなんか意味ないし」という者はいない。ヨハネは文字通り人生を燃やして、イエスがキリストであることを証しし、「声」として、また「ランプ」としての生を全うしたのである。

* * *

説教はご飯とみそ汁、所謂「消えもの」なのだからそれでいいのかもしれないが、週二、三回のペースで説教をしていると「あれ、何をしゃべったっけ」となることがある。そんな私にもやはり忘れられない説教がある。伝道師になつて間もなくの伝道研修会のこと。講師は新中野キリスト教会の村上知子先生、テキストはヨハネ五・三五であつた。村上師はともじ火を説明するのに「たいまつ」の例を用い、その光は目的のために奉仕するものであり、且つ永続性を持たないことを説明され、その上で我々伝道者の働きもある意味そういうもの、それでいいのだ。と断言された。素直に感動した。神の栄光のため、与えられた生を燃やしつくして生きることを教えられたのだ。六年後、神学校教師となつた私は新中野の講壇に立つた。末期がんと闘う村上師の「代打」であつた。師はなおも気丈だつた。極度の体調不良の中でも生け花やOHPの向きなど教会の隅々に目を配っていた姿を忘れることが出来ない。なぜそうまでした(できた)のか。簡単である。彼女の中にキリストを証しする、燃えて輝く松明があつたからだ。友よ、キリストを伝え、キリストの名を輝かそう。まことの光を証しよう。ここにキリスト者の本分がある。